

Baobab

プロフィール

桜美林大学在学中に北尾亘が中心となって活動を開始。全作品の振付・構成・演出を行う。
メンバーに目澤芙裕子・米田沙織を加え、団体としての活動を本格化させる。
作品のコンセプト毎にメンバーの他、ダンサーや役者の垣根を越えた人材を募り、経験の有無や得意不得意に関わらず集まった人をみな踊らせてしまう大胆なダンスの扱い方が特徴。
コミカルでいてリズムカルな振付と、その人間たちの関係性を織り交ぜながら、[時に喋り歌い 沢山笑ってたまに泣く]パフォーマンス性の強い作品を創作。
またパフォーマンスと観客のボーダレスな関係を求めて、パフォーマンスイベントの企画やクラブイベントへの出演なども行う。

- ・KYOTO EXPERIMENT(京都国際舞台芸術祭)二年連続参加
- ・コンドルズ振付コンペディション 2010(CCC) アホウドリ賞(準グランプリ)受賞

北尾亘

1987年生まれ 桜美林大学卒
幼少期より舞台芸術に携わる。クラシックバレエからストリートダンスまで手広くダンスに触れた後に、大学にて木佐貫邦子氏に出会い、指導を受ける。
また在学中に近藤良平氏にも指導を受け、両氏の作品に出演。また並行して役者としても活動。その両者の経験がさらに入り混じり、Baobab 作品の基盤に辿り着く。
ダンサー・役者のほかに、ダンス作品や演劇作品への振付も行いながら、身体と意識を見つめている。

上演作品

『笑う額縁』

「その額縁は、笑う額縁となる。」
どんな辺鄙な絵画があっても良いし、すこぶる美しい絵画があっても良い。
あといろいろ整っている方が良い。
額縁は地味な方が良い。
派手な額縁は絵画を食う。
しかし我々は派手な額縁が好きだ。
我々の口は笑う 絵画をのみ込まんとするかのよう。
我々の口は叫ぶ 遠く離れた地まで轟くと願いつつ。

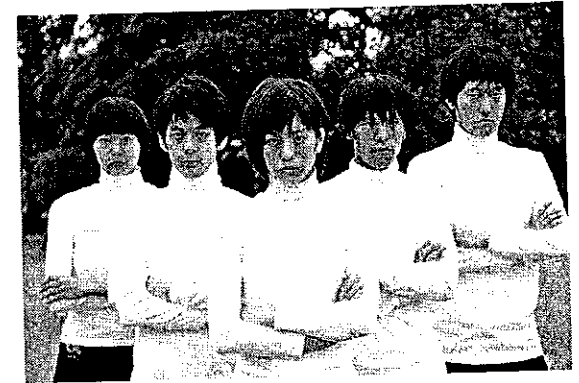
2010年12月 創作の『額縁』を、新たな出演者と共に再構築した作品です。
今作はダンサーばかり、女性が5人と男が1人。
彼女らと共にどこまでも前進します。
あとは踊るのみです。
この贅沢な空間で踊れることに感謝します。

振付・構成:北尾亘

出演:岡本優/柴田菜々子/升水絵里香/目澤芙裕子/米田沙織/北尾亘

ダンス・インパクト吉祥寺 vol.2

ビルディング・石川勇太+竹内梓・Baobab



2012年2月4日(土) 午後6時開演

吉祥寺シアター

主催:公益財団法人 武蔵野文化事業団

Saturday, 4th February 2012 at 6:00 p.m.

KICHIJOJI THEATRE

Presented by the Musashino Cultural Foundation

舞台監督:佐藤恵 音響:林あきの 音響補佐:牛川紀政 照明:影山雄一



ビルディング

プロフィール

ビルディングとは、加藤紗希を中心とする 体育会系ダンスユニット。
ニッカポッカをユニフォームとし、感情的にリズムカルに 舞台上を駆け回る。
誓いの言葉を叫び、「圧倒的な勢いで全力！」をモットーにし、勢力的に活動中。
毎回、作品ごとに異なるメンバーを ダンサー・役者・ミュージシャンなどからメンバーを集め、作品創作を行っている。
基本的に<背の高い 舞台人>で構成され、不格好に生きる様子を舞台に乗せる。
2011 年秋に旗揚げし、今回は3作品目となる。
「ダンスがみたい！新人シリーズ 10」にてオーディエンス賞授賞。

加藤紗希

1989 年生まれ 愛知県出身。幼少期より ジャズダンス・ミュージカルを経験。
成長期より コンテンポラリーダンス・リズムタップを始める。
高校卒業と同時に 名古屋より上京後、フリーでの活動を開始。
舞台・映像作品製作や 舞台の振付・イベントの企画、他振付家の作品に出演するなどして、活動中。
第61回 NHK 紅白歌合戦出演。郷ひろみ バックダンサーも務める。
また、身長を生かしたモデルの仕事や お芝居などにも積極的に取り組む。
ビルディングを旗揚げし、さらに勢いよく活動中。三姉妹の真ん中。

上演作品

デビルな紳士

働け 働け 働くんだ
身体よ 動け 魂よ 遊べ
これしかない これしかない
私たちには これしかない
生きろ 生きろ 生きろ

出演／池田仁徳・香取直登・佐久間夕貴・長谷川華・望月聡・加藤紗希
音楽／望月聡
振付・演出・構成／加藤紗希

今後の予定／

①ビルディング 主催ライブ！

「ビルディングの新世界」

2012 年 2 月 19 日(日)18:00／21:00

前売り ¥2,000(+1drink) 当日 ¥2,300(+1drink)

@音楽実験室 新世界

(他、オフィス天国・猫道 他ゲストライブ有り)

詳細は、主宰ブログにて 更新中 <<http://ameblo.jp/sak87i/>>

②ビルディング 単独公演決定！

「待ちわびる ターン」

2012 年 5 月 26 日(土)16:00／19:00

前売り ¥2,500 当日 ¥2,800

@神楽坂セッションハウス

(D-Zone Relay2012 参加プログラム)

石川勇太+竹内梓

プロフィール

石川勇太+竹内梓:

2011 年より、各人の活動とは別の形としてユニット活動を始める。それぞれが振付家且つダンサーとして存在し、内外からの多角的な視点をもつことで緻密な空間、関係を生む。
今作「26.5」がこのユニットでの最初の作品であり、30 分 ver.は日本での初演となる。
フランス・パリでの初演の際は、オリジナリティーに富んだ作品と、好評を得る。

石川勇太:

幼少より演劇に没頭し、青年団を始め様々な作品に役者として出演。その後、ダンスを木佐貫邦子に師事。Noism、珍しいキノコ舞踊団で活動後は 2010 年よりフランスに活動拠点を移す。Samuel Mathieu, Rita Cioffi 等の作品にダンサーとして参加する傍ら、自身のカンパニーである<e.g.MILK>の活動を再開。トヨタコレオグラフィアワード 2010、スペイン MASDANZA16 ファイナリストに選ばれ、振付家として国内外での評価を受けつつ活動の幅を広げている。
<http://www.yutaishikawa.net/>

竹内梓:

幼少よりダンスを始め、妻木律子、平山素子に師事。2008 年文化庁新進芸術家海外留学制度により渡仏。フランスを拠点にした活動を始める。2011 年ソロ「Le blanc」で、Yokohama Dance Collection EX2011 ファイナリストに選ばれ、MASDANZA 賞を受賞。現在、ソロでの活動と共にフランス・トゥールーズの CDC の研修生として、様々な振付家の作品に参加する。
<http://azzusatakeuchi.blogspot.com/>

上演作品

「26.5」

振付・出演 石川勇太 竹内梓
音楽 山口晋似郎
衣装 Sonia HAMZA

個体と個体、

その間に生まれる関係に丸っきり同じものは存在しない。
数字によって計算できるモノでもなく、決められた定義が既にある訳でもない。

彼らにとって居心地のいい、「ここ」

一見奇妙な 2 人の関係、そして奇妙な 2 つの存在。

自分のリズムで、自分のカラダで、行ったり来たりを繰り返す。

そこに生まれるわずかな揺れが、2 人の「ここ」を埋めていく。

初演 (15min.ver); 2011 年 2 月 横浜ダンスコレクション EX2011 ショーケース

初演 (30min ver); 2011 年 11 月 エスパス・ベルタンポワレ (フランス)

レジデンス; 2011 年 7 月 P.A.R.T.S (ベルギー)